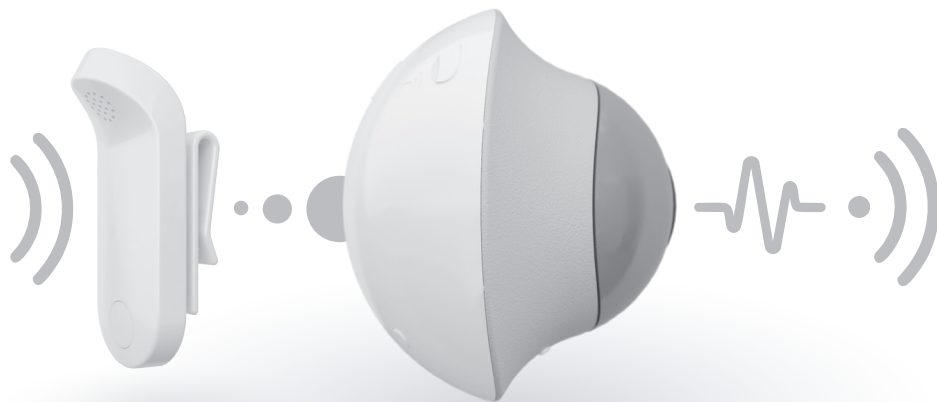


α·tell



はじめに

ご使用方法

資料

保証

取扱説明書

FILLTUNE

ATL-25

本書はインターネット上でも
閲覧することができます。



目次

はじめに

必ずお守りください	4
無線通信について	12
無線通信使用上のご注意	13
商品のご確認	14
各部の名称	15

ご使用方法

充電する	16
お使いの前に	17
使い方	18
活用シーン	19
ランプ表示仕様	21

資料

故障かなと思ったら	22
仕様	24

保証

保証とアフターサービス	26
無料修理規定	27

必ずお守りください

本機は安全に十分配慮して設計されています。しかし、間違った使い方をすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全上のご注意

表示マークの意味

 危険	この表示の注意事項を守らないと、火災・漏電・漏液・発熱・破裂などにより死亡または重症を負う可能性があります。
 警告	この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・漏液・発熱・破裂などによりやけどまたは重症を負う可能性があります。
 注意	この表示の注意事項を守らないと、感電やその他事故により怪我をしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。
 禁止	この記号は「してはいけない行為（禁止行為）」を示します。
 指示	この記号は「しなければならない行為」を示します。
 注意	この記号は「注意（警告を含む）を促す事項」を示します。



危険



禁止

湿気・ほこりの多い場所や、油煙・湯気が当たる場所に置かないでください。

火のそばや炎天下の車内など、高温の場所で使用・保管・放置をしないでください。

分解しないでください。故障や感電の原因となります。内部の点検および修理は、FILLTUNE サポートセンターまたは、販売店にご依頼ください。

火の中に入れてください。

雷雨時や長期間使用しない場合は、電源プラグを抜いてください。

バッテリーの液が漏れたときは素手で液を触らないでください。

- ・ 液が目に入ったときは、失明の原因になることがありますので目をこすらず、すぐにきれいな水で十分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。
- ・ 液が身体や衣類についたときは、やけどや怪我の原因になりますので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症や怪我のある場合は、医師に相談してください。

電波により影響をあたえる可能性がありますので、心臓ペースメーカーの装着部位から22cm以上離して使用してください。満員電車など付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる場合は使用しないでください。

運転中は本機を操作しないでください。



警告



禁止

ラジエーター・暖房送風口・ストーブ・その他の熱を発する装置（アンプを含む）の近くには置かないでください。

内部に水や異物を入れないでください。本機は防水仕様ではありません。水や異物が入ると火災や感電の原因になります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに使用を中止し、販売店または FILLTUNE サポートセンターへご相談ください。

本体を布団などでおおった状態で使わないでください。熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

充電中の製品に長時間触れないでください。長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

体内に埋め込まれている医療機器への影響については、医師にご相談ください。

自動ドア・火災報知器など自動制御機器の近くで使わないでください。



注意



禁止

本機を使用中に気分が悪くなった場合は、すぐに使用を中止してください。

小さなお子様の手の届くところに保管しないでください。誤飲など思わぬ事故を招く場合があります。

2.4GHz 帯を利用する他の機器で、機器の制限がある場合は使用しないでください。

日本国外では使用しないでください。この装置は日本国内専用です。国外では独自の安全規格が定められており、この装置が規格に適合することは保証いたしかねます。また、海外からのお問い合わせに関しても一切応じかねますのでご注意ください。

音量を上げすぎない。大きすぎる音量は、聞こえを悪くする原因になります。

強い電波・磁力を出す機器のそばでは使用しないでください（MRI 検査室には持ち込まない）。大きな雑音のでて、耳を痛める原因となります。雑音が出る時は、使用をやめるか、その場所から離れてください。

**注意****注意**

音量を上げすぎると音が外に漏れることがあります。まわりの人の迷惑にならないように気をつけてください。

35℃以上になる場所での使用は避けてください。

本製品は医療機器認定を取得した補聴器ではありません。

**指示**

万一、異常や故障が発生したときはすぐに使用を中止してください。

疑問点や問題点がある場合は、FILLTUNE サポートセンターまたは販売店にご相談ください。

定期的に点検する

1 年に 1 度は、ほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないかなどを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、破損しているのに気づいたら、すぐに使用を中止し FILLTUNE サポートセンターまたは販売店に修理を依頼してください。

万一、異常が起きたら。変な音・においが出る・煙が出るなど

- 1 電源を切ってください。
- 2 充電中の場合は本機を AC 電源アダプターから外してください。
- 3 FILLTUNE サポートセンターまたは、販売店に修理を依頼してください。

バッテリーについての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・誤飲による大怪我や失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお読みください。



危険 バッテリーが液漏れしたとき

- ・ バッテリーの液が漏れたときは素手で液を触らないでください。
- ・ 液が本体内部に残ることがあるため、FILLTUNE サポートセンターにご相談ください。
- ・ 液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐにきれいな水で十分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。
- ・ 液が身体や衣服についたときも、やけどや怪我の原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚の炎症や怪我の症状があるときには医師に相談してください。



警告 バッテリーについて

- ・ 火の中に入れてください。分解・加熱しないでください。
- ・ 火のそばや直射日光の当たるところ、炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しないでください。
- ・ バッテリーが液漏れした場合は本機を使わないでください。
- ・ 長い間使わなかったときは、バッテリーの持続時間が短くなることがあります。長期にわたって保存する場合は、過放電防止のため、半年に 1 回程度の充電を行ってください。
- ・ バッテリーの持続時間が極端に短くなった場合は、FILLTUNE サポートセンターまたは販売店にご相談ください。



本機に内蔵されているバッテリーはリサイクルできます。このバッテリーの取り外しはお客様自身では行わず、FILLTUNE サポートセンターまたは販売店にご相談ください。

使用上のご注意

充電ケーブルについて

付属品以外の充電ケーブルを使わないでください。

取扱上のご注意

- ・ 本機は力を加えたり重さを加えたりしたまま長時間放置すると、変形してしまう恐れがあります。。保管するときは、変形しないようにしてください。
- ・ 落としたりぶついたりなど、強いショックを与えないでください。
- ・ 汚れは、水分を固く絞った柔らかい布でふき取ってください。
- ・ 内部に水が入ると、火災・感電・故障の原因となる恐れがあります。
- ・ 水や温水のかかる場所での使用は避けてください。
- ・ ラジオを聞いているときにノイズが入る場合は、本機を離してご使用ください。

無線通信について

機器認定について

本機は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線設備として、認証を受けています。従って、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。ただし、以下の事項を行うと法律に罰せられることがあります。

- ・ 本機を分解・改造すること

周波数について

本機は 2.4GHz 帯の 2.4000GHz から 2.4835GHz まで使用できますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

本機の使用上の注意事項

本機の使用周波数は 2.4GHz 帯です。この周波数帯では電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局・工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局・免許を要しない特定の小電力無線局・アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

- ・ 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
- ・ 万一、本機と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、またはどちらかの機器の電源を切ってください。
- ・ 不明な点その他お困りのことが起きたときは、FILLTUNE サポートセンターまたは販売店までお問い合わせください。

2.4 FH1
■■■

この無線機器は 2.4GHz 帯を使用します。

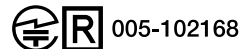
変調方式として FH-SS 変調方式を採用し、与干渉距離は 10m です。

無線通信使用上のご注意

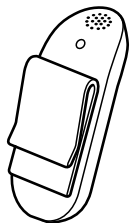
- 本機は Bluetooth 無線技術を利用しており、およそ 10m 程度までの距離で通信できますが障害物（人体・金属・壁など）や電波状態によって通信有効範囲は変動します。
- ノイズや音途切れが発生したり、接続できなくなることがあります。
 - マイクユニットとスピーカーユニット間に人体・金属・壁などの障害物がある場合
 - 無線 LAN が構築されている場所・電子レンジを使用中の周辺・その他電磁波が発生している場所など
 - マイクユニットとスピーカーユニットの距離が 10m 以上ある場合
- 本機と無線 LAN（IEEE802.11b/g/n）は同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、無線 LAN を搭載した機器の近辺で使用すると、電波干渉のためノイズや音途切れが発生したり、接続できなくなることがあります。この場合、次の対策を行ってください。
 - 本機を使用するときは、無線 LAN から 10m 以上離れたところで行う
 - 10m 以内で使用する場合は、無線 LAN の電源を切る
 - マイクユニットとスピーカーユニットをできるだけ近付ける
- 無線技術の特性により、送信側での音声・音楽再生に比べて、本機側での再生がわずかに遅れます。

技適マークについて

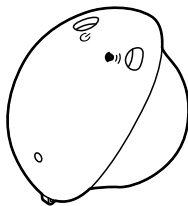
この製品は電波法令で定めている技術基準に適合している無線機です。



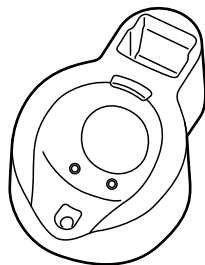
商品のご確認



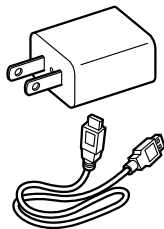
マイクユニット × 1



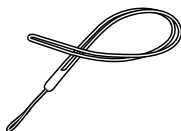
スピーカーユニット × 1



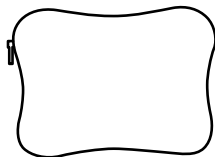
クレードル（充電・除菌台） × 1



AC 電源アダプター /
USB 充電ケーブル × 1



ストラップ × 2



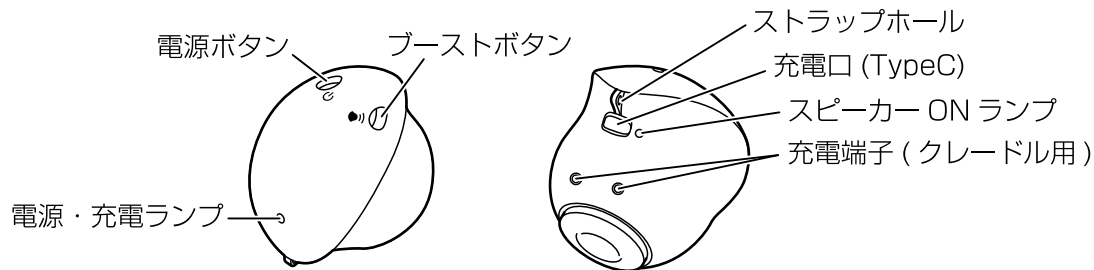
キャリングポーチ × 1



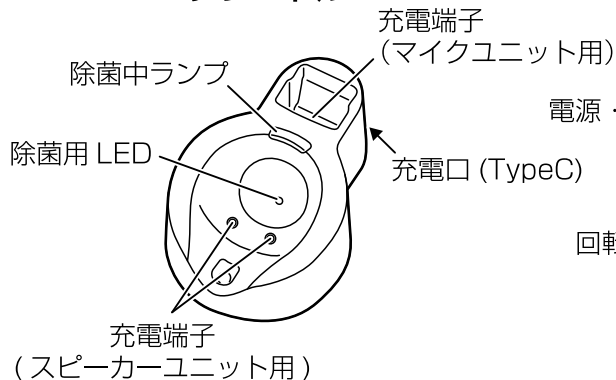
取扱説明書・保証書
（本書） × 1

各部の名称

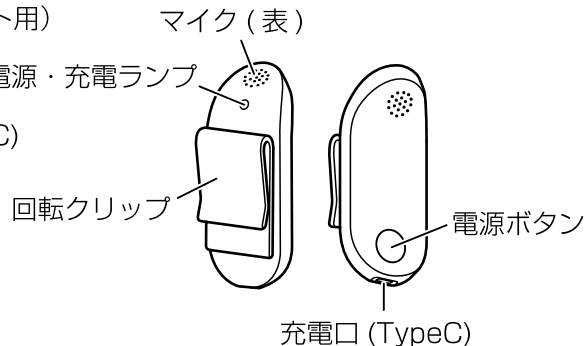
スピーカーユニット



クレードル



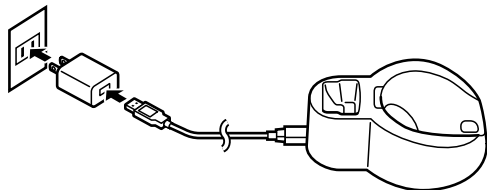
マイクユニット



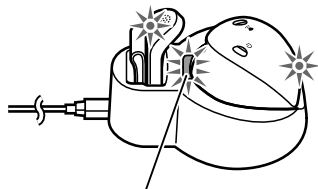
充電する

クレードルを使った充電

- 1 クレードルへ AC アダプターと充電ケーブルをつなぎます。



- 2 クレードルへスピーカーユニットとマイクユニットをセットすると充電が始まります。



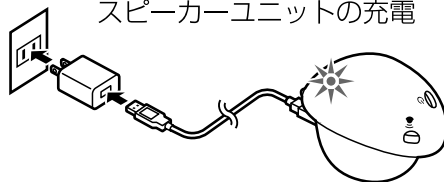
除菌中ランプ

除菌中は青ランプが点灯します（約 1 分）

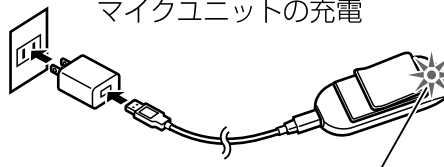
各ユニットの充電口を使った充電

スピーカーユニット、マイクユニットの充電口を使った充電も出来ます。

スピーカーユニットの充電



マイクユニットの充電



電源・充電ランプ

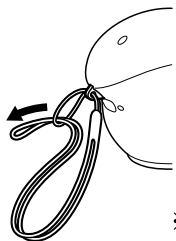
点灯（赤）：充電中

消灯：充電完了

※ 除菌について：クレードルにスピーカーユニットをセットすると、自動的に除菌用 LED が点灯し除菌終了後に消灯します。

お使いの前に

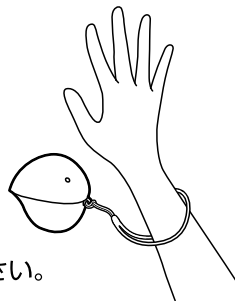
1. ストラップの使い方



スピーカーユニットのストラップホールにストラップの細いループを通し、ループにストラップの片方をくぐらせ引っ張ります。

ストラップのシリコンループを手首につけるとスピーカユニットの落下を防ぐことができます。

※ストラップは 2 色同梱されていますのでお好みでお使いください。



2. スピーカーユニットの持ち方とあて方



スピーカーユニットは、ストラップホールを下にして親指、人差し指、中指、薬指で挟むようにすると安定します。

あてる位置は耳珠付近が効果的です。

スピーカーユニットを押し付けて、スピーカー ON ランプが点灯すると音声が届きます。

聴こえにくい場合ブーストボタンを押すと、押している間音量が上がります。



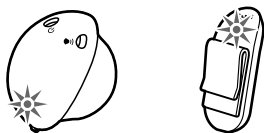
※マイクユニットとスピーカーユニットは 2.4GHz 帯の無線通信をしています。
2つの間に遮蔽物がないようにしてください。

使い方

1 マイクユニットとスピーカーユニットを充電します。(充電する P.16 参照)

2 マイクユニットとスピーカーユニットの電源を ON します。

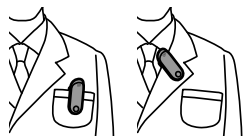
マイクユニットとスピーカーユニットの電源が自動的に接続され、電源・充電ランプが点灯（青）します。



電源 ON の方法

①クレードルで充電した場合	クレードルから外す
②充電ケーブルで充電した場合	充電ケーブルを外す
①、②以外の場合	それぞれの電源ボタンを2秒押す

3 マイクユニットを話者の胸や襟などに取り付け、スピーカーユニットを対象者にあてます。



話者の声がマイクで集音され、スピーカーユニットより骨伝導で伝わります。

スピーカーユニットは「耳珠」付近にあてると効果的です。



ご注意：

マイクユニットとスピーカユニットが近づきすぎるとキーンというハウリング音が発生することがあります。その場合はマイクユニットとスピーカユニットを離してください。

4 マイクユニットとスピーカーユニットの電源を OFF します。

クレードルにセットする、または充電ケーブルをつなぐ	電源が OFF し充電を開始する
マイクユニット、スピーカーユニットの電源ボタンを2秒押す	電源が OFF する

活用シーン

1. 病院、クリニック（座ってる患者へ医師があてる）



医師、看護師はマイクユニットを装着し、座っている患者へスピーカーユニットをあてます。

※初めての患者へは医師、看護師があてるとよいでしょう。

2. 病院、クリニック（座ってる患者へ患者自らがあてる）

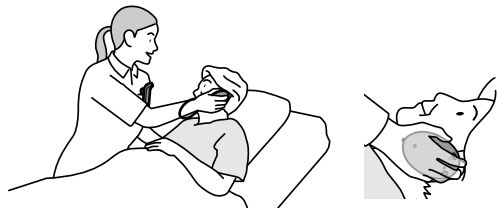


医師、看護師はマイクユニットを装着し、座っている患者へスピーカーユニットを渡し、患者が自らスピーカーユニットをあてます。

※慣れた患者は自ら聴きやすい位置あてるとも可能です。

活用シーン

3. 訪問医療（寝ている患者を想定）



医師、看護師はマイクユニットを装着し、寝ている患者へスピーカーユニットをあてます。

4. 調剤薬局



薬剤師はマイクユニットを装着します。
スピーカーユニットはクレードルに装着しており、必要に応じてお客様が自らスピーカーユニットをあてます。
※場合によっては、調剤薬局のスタッフがお客様にあててください。クレードルのマイクユニット装填部には「耳にあててね！！」などの文言を書いたイラスト付き POP などを挟むことを推奨します。

ランプ表示仕様

ランプ名	状態	ランプ動作
電源・充電ランプ マイクユニット/ スピーカーユニット	マイクとスピーカー接続	青 点灯
	充電中	赤 点灯
	バッテリー残量警告	赤 6回点滅
	マイクとスピーカーの接続中	青 3回点滅
	マイクとスピーカーの接続切れ	青 ゆっくり点滅
除菌中ランプ クレードル	除菌中	青 点灯

※各ランプの位置は、P15「各部の名称」をご覧ください。

マイク：マイクユニット
スピーカー：スピーカーユニット

故障かなと思ったら

修理を依頼する前に、再度点検してください。それでも正常に動作しないときは、販売店または FILLTUNE サポートセンターへご連絡ください。

症状	原因	対応
音が出ない、 音が途切れる	マイクあるいはスピーカーの電源が入っていない。	電源を入れてください。
	マイクとスピーカーが接続されていない。 (電源・充電ランプが青になっていない)	マイクとスピーカーを 10m 以内に近づけて、電源を入れ直してください。※1
	マイクとスピーカーが離れている。	マイクとスピーカーを 10m 以内に近づけてください。
	接続が不安定になっている可能性がある。	マイクとスピーカーの電源を入れ直してください。※1
	意図しないマイク・スピーカーと接続してしまっている。	意図しないマイク・スピーカーの電源を切り、マイクとスピーカーの電源を入れ直してください。※1
	マイク・スピーカーの接続が切れている。	マイクとスピーカーの電源を入れ直してください。※1
	電子レンジ・無線 LAN 機器・Bluetooth 機器などから電波干渉を受けている。	これらの機器の使用をやめるか、電波干渉の少ない場所で使用してください。

マイク：マイクユニット
スピーカー：スピーカーユニット

症状	原因	対応
音が出ない、 音が途切れる	マイク・スピーカーの間に障害物がある 可能性がある。	障害物を取り除いてください。 (例：別の部屋で接続を試みる)
	音量が小さい。	マイクの方向を正しく向けてください。 ブーストボタンを使ってください。
音質が悪い	電波状況がよくない。	マイクとスピーカーを 10m 以内に近づけてください。 マイクとスピーカーの電源を入れ直してください。※1
	スピーカーをあてる位置が正しくない。	P.17「お使いの前に」の 2. スピーカーユニットの持ち方とあて方を確認してください。
電源が入らない	バッテリー残量が少ない。	マイクあるいはスピーカーを充電してください。
動作が不安定になる	一時的に不安定になっている。	マイクとスピーカーの電源を入れ直してください。※1
充電できない	充電端子が汚れている。	クレードル、スピーカーの充電端子を無水アルコールなどで拭いてください。

※1 マイクとスピーカーそれぞれの電源を切り再度電源を入れる、
あるいは、マイクとスピーカーをクレードルに入れ充電が始まった後に取り出してください。

仕様

マイクユニット

電源	DC 3.7V：内蔵充電式リチウムイオン電池 DC 5V：USB 充電時
マイク	単一指向性エレクトレットコンデンサー
許容動作温度	0℃～35℃
動作時間	約6時間
充電時間／充電温度	約1時間半／5℃～35℃
サイズ／重量	H68×W29×D29T／18g

スピーカーユニット

電源	DC 3.7V：内蔵充電式リチウムイオン電池 DC 5V：USB 充電時
振動子	超磁歪式骨伝導振動子
許容動作温度	0℃～35℃
動作時間	約7時間
充電時間／充電温度	約1時間半／5℃～35℃
サイズ／重量	H56×W48×D68／84g

クレードル

電源	DC 5V : USB 充電時
サイズ／重量	H56×W74×D107 / 120g

通信仕様

通信方式	Bluetooth 準拠
最大通信距離	10m ※通信距離は周囲環境により変わる可能性があります。
使用周波数帯域	2.4 GHz 帯 (2.4000 GHz - 2.4835 GHz)

同梱物

- ・ マイクユニット × 1
- ・ スピーカーユニット × 1
- ・ クレードル × 1
- ・ AC アダプター × 1
- ・ USB 充電ケーブル × 1
- ・ ストラップ × 2
- ・ キャリングポーチ × 1
- ・ 取扱説明書・保証書 × 1

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

保証とアフターサービス

● 保証書・最終ページに付属

- ・ 保証は、本製品を購入された方のみ適用されます。
- ・ 保証書は必ずお買い上げ日・販売店などの記入をお確かめのうえ、内容をよくお読みになったあと大切に保管ください。

● ご不明な点や修理に関する相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は FILLTUNE サポートセンターにお問合せください。

● 修理を依頼されるときは

修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、再度点検してください。なお、異常のあるときはご使用を中止し、FILLTUNE サポートセンターにお問合せください。

● 保証期間中は

製品と保証書をご用意いただき、FILLTUNE サポートセンターにお問合せください。
保証書の記載内容により無料で修理いたします。

● 保証期間が過ぎているときは

修理によって商品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

無料修理規定

- 保証期間内に取扱説明書、本体添付ラベルなどの注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には無料修理いたします。
 - 保証期間はお買い上げ日より一年間での本国内のみ適用いたします。
 - 保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合には FILLTUNE サポートセンターにお問合せください。
 - 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
 - お買い上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷
 - 火災・地震・水害・落雷・その他の天災天変・公害や異常電圧による故障および損傷
 - 通常と異なる環境で使用された場合の故障および損傷
 - 本書の提示がない場合
 - 本書にお買い上げ年月日・お客様名・販売店の記載のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合（ご購入店印がない場合は販売店のレシートや納品書などご購入を証明する書類を添付してください）
- ※ お客様よりいただく個人情報は保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために利用させていただきます場合がございます。ご了承ください。
- また個人情報は FILLTUNE 株式会社のホームページ (<https://filltune.com/contact/>) に掲載されている「個人情報の利用に関する同意書」に基づき適切に管理いたします。

保証書

この保証書は「無料修理規定」記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から下記期間中に故障が発生した場合は、FILLTUNE サポートセンターにお問合せください。

品名	FILLTUNE a.tell
型番	ATL-25
保証期間	お買い上げ日より 1 年
対象部分	製品本体
お買い上げ日	
お客様氏名	
販売店	
シリアル NO.	(シール添付)

製品の使用方法や修理に関するお問合せ

FILLTUNE サポートセンター

✉ <https://filltune.com/contact/>

製造元

FILLTUNE株式会社

©2025 FILLTUNE, Inc.